



打出公園から見た旧図書館(現・打出教育文化センター、図書館打出分室)

新しい時代を拓くこころ豊かな人づくり

時代とともに変わるものと、変えてはならないものとの調和をめざして

広報あしや2月15日号「打出教育文化センターをご存知ですか」でご紹介した石造建築物『松濤館』の旧所有者のお名前が間違っていました。正しくは、松山与兵衛氏でした。お詫びして訂正します。この建物は、もと大阪12両替商の一つであった逸見銀行所有の石造建築物を松山与兵衛氏が購入し、現場所に移し美術品の保管等に使用されていたものでした。その後、市が購入し、昭和29年から新図書館の開館した62年まで、市立図書館として市民に親しまれました。

学校教育の重点課題

自然や地域に学び、豊かな感性と創造力をはぐくむ

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

保護者・地域から信頼される開かれた学校園づくりに努める

学校評議員制度の活用と学校評価の活性化を図り、「説明責任」「結果責任」を果たし、保護者や地域の期待に応えられる開かれた学校園づくりをします。教育目標や教育計画の実現に向け、創意工夫をこらした教育活動に取り組み、特色ある学校園の創造、活力ある教育の実現を地域とともにめざします。さらに、学校園がすべての幼児児童生徒にとって、安心して生活できる場となるよう、不審者の侵入への対応など、危機管理意識を高めます。

基礎・基本の確実な定着と個性や能力を伸ばす教育を進める

各教科の基礎・基本の徹底、「生きる力」の基本となる確かな学力の習得を図ります。保護者や大学生の教育ボランティアの人材を活用した、個別学習等、きめ細かな指導の工夫を図り、保護者の協力も得て家庭学習の充実も図ります。高校改革も視野に入れ、学習指導や進路指導のよりいっそうの充実を図ります。

学校・家庭・地域社会が一体となって心の教育の充実を図る

道徳教育の充実を図り、学校・家庭・地域社会が一体となって、あいさつする態度などの基本的な生活習慣や思いやりの心を培います。恵まれた芦屋の自然の中で、伝統文化や「わがまち芦屋」を愛する心や誇りに思う態度を育てます。また、指導者の人権意識の高揚を図るとともに、不登校やいじめ・問題行動に対しては保護者の協力を得て、幼児・児童・生徒の内面理解に基づいた、厳しさと優しさを備えた忍耐強い指導を行います。

厳しさに耐える心と体を育てる教育を進める

体育の授業を充実させ、運動能力を高め、一人ひとりに応じた体力づくりを推進するとともに、忍耐力や克己心を培います。健康で安全な生活を送る基礎を培うため、家庭や学校医等との連携を密にし、保健室やスクールカウンセラーの機能を十分に生かしながら、健康教育の充実を図ります。

教師自らの研究と修養に努め、指導力の向上を図る

教職に携わる者としての使命感や倫理観を高め、専門的な知識・技能や実践的な指導力とともに高い志や品性を身につけ、保護者や地域の声にも耳を傾け、子どもに敬愛されるよう努めます。教職員一人ひとりが教育の現状や課題を十分に理解し、研修を充実させ、自らの資質・能力を高めます。

ごあいさつ

教育長 藤原 周三



地方分権の理念のもと進められる「三位一体の改革」では、地方の権限と責任を拡大しながら、住民に身近な行政を効率的に処理することが求められています。教育におきましても、教育水準の維持向上を含む義務教育のあり方について、幅広く検討されております。兵庫県では、教育改革プログラムで提唱された「県民すべてがかかわる兵庫の教育」のいっそうの推進に向け、取り組みが進められます。本市では、オープンスクールを全校で実施し、開かれた学校づくりをめざして、教育活動の公開など学校からの積極的な情報公開に努めるとともに、保護者や地域住民の学校教育への参画の機会を増やすなど、授業のあり方の研究等にも取り組みます。昨年度からスタートした高等学校の学区統合は二年目を迎え、保護者・市民の関心は強く、これまで以上に学力向上を望む声が大きくなっています。学校教育においては、学習状況等調査の結果を踏まえ、各学校の実態に応じた「学力向上バ

ワーアッププラン」に基づいた取り組みを通じて、学力のいっそうの向上を図ってまいります。そのために、少人数指導等の新学習システムの活用や多様な学習方法の工夫・改善を行い、保護者や大学生の教育ボランティア等の人材も活用し、基礎・基本の学習内容が全ての児童生徒に十分習得できるよう取り組んでまいります。また、児童生徒を巻き込んだ痛ましい事件や事故も続発しております。学校園を安全、安心な場所とするために、保護者や地域の協力を得ながら、その対策に取り組みます。社会教育においては、人々の多様な学習ニーズに対応するため、各種の学習や体育・スポーツ活動、芸術文化活動など創意ある学習機会の提供を進めてまいります。「人々が、生涯いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会の構築をめざしていくことが重要です。国際文化住宅都市をめざす本市においては、市民参加によるさまざまな学習機会や情報の提供に努め、「芦屋の文化」を、とりわけ「心の文化」を維持してまいります。

社会教育の重点課題

社会教育の新たな展開を目指して

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

近年、高齢化問題・少子化問題・情報化問題等の課題に関する学習への関心が高まっています。また地方自治法の改正により、社会教育施設の管理運営については、民間活力の導入を図り、事業についても、民間と提携することを積極的に推進する必要があり、社会教育は、展開の時期を迎えています。

高齢化社会への対応

急速に進展する高齢化に対応し、活力ある豊かな高齢社会への円滑な移行を図るため、高齢者の学習機会の整備と社会的活動への参加の促進を図ります。

家庭教育への支援

家庭教育は、すべての教育の原点です。社会教育では、家庭教育に関するさまざまな学習機会の提供や相談体制の充実、普及啓発の推進を図り、家庭教育を支援します。

情報化への対応

光ファイバーや衛星通信などを利用した情報通信基盤の整備が急速に進んでいる中、インターネットによる学習情報提供やシステムを活用した事業の展開を進めます。

学校週5日制への対応

子どもの生活の場である地域社会、家庭、学校それぞれが役割を明確にし、相互連携を図り、生活体験・自然体験活動などのプログラムを進めていきます。

生涯スポーツの推進

市民一人ひとりが、それぞれの年齢や生活スタイル・目的に応じて、いつでも、どこでも、気軽に生涯にわたりスポーツを楽しむことができる地域社会の実現を目指します。

歴史散歩 66

今も残る戦前の面影 19

業平橋の欄干

問い合わせ

美術博物館

☎映5432

大正八年から計画された阪神国道(国道二号)の改築は、大正十五年十二月に竣工しました。神戸・大阪間を最短距離約二十kmで結ぶこの国道は、市民にとって非常に便利な足となりました。ところで阪神国道神戸(大阪)には、計四十一の橋梁があります。これら橋梁のデザインはどれも同じものではなく、個々に意匠を凝らしたデザインで仕上げられています。芦屋にも業平橋(広報九〇二号で紹介)の二つ



業平橋の四隅の欄干のうち、西側二つの欄干の下に古びた花崗岩の石材(写真)があります。この石材は、階段状に加工され、欄干の一部として架橋当時からあるものです。業平橋は、昭和五十三年から三回の補修工事が行われました。その中で、平成七年の震災に伴う工事で欄干の一部は替えられたり、研磨されました。これにより、架橋当時から残っている部分は、ほとんどなくなりました。当時の、ものに対する細部へのこだわりを感じさせるものの一つと思われます。

有料広告を募集します

「広報あしや」新年度分の有料広告掲載を受け付けています。概要は次のとおりです。

- | | |
|-------|---|
| 掲載ページ | 1日号・8ページ広告欄と15日号・4ページ広告欄 |
| 広告料 | 1種広告(66mm×120mm)・50,000円
2種広告(66mm×246mm)・100,000円 |
| 掲載の範囲 | 広報誌に掲載できる広告は、市の広報紙としての品位、公共性、および公益性を妨げないものであって、市民に不利益を与えない、中立性のあるものに限りです。(本市ホームページ「要領」参照) |
| 申し込み | 広報発行日の30日前までに、市長あての「広告掲載申込書」に広告案を添えて、取り扱い代理店(株式会社 一新社 ☎06-6231-2103)へ。 |
| その他 | 広報課で審査し、掲載許可(不許可)のご連絡をします。 |

問い合わせ 広報課 ☎38-2006